

安 全 情 報

No 36 / 2017

野党支持者による抗議集会・デモに関する注意喚起

野党連合 MUD は、治安当局によるデモに対する抑圧への反対、制憲議会の召集への反対、マドゥーロ大統領の退陣、諸選挙の実施等を求め、6月10日（土）及び11日（日）、カラカスにおいて抗議集会・デモを呼びかけています。

4月以降、野党支持者と治安機関との衝突が相次いでおり、多数の死傷者や逮捕者が出ていることから、デモ・集合場所付近には、絶対に近づかないようにお願いします。

記

1 抗議集会の予定

(1) 10日（土曜日）の予定

午前10時頃より、カラカス首都圏の以下の11ヶ所の場所に集合した後、リベルタドール市内のビクトリア通りまで、デモを行う予定です。

【カラカス東部集合場所 3ヶ所】

- ① サンタ・フェ地区（バルータ市）
- ② ベジョ・モンテ（バルータ市）
- ③ アルタミラ広場（チャカオ市）

【カラカス西部集合場所 8ヶ所 リベルタドール市】

- ① サンタモニカ地区クレマ・パライソ
- ② ロンガライ通り
- ③ パライソ地区マルチプラサ・ショッピングモール
- ④ モンタルバン地区ラ・ビジャ
- ⑤ グラン・コロンビア地区
- ⑥ ラ・カンデラリア地区、他2ヶ所

(2) 11日（日曜日）の予定

午前11時頃より、カラカス首都圏チャカオ市フランシスコ・デ・ミランダ通りに集合し、これまでデモで亡くなった人々に対する追悼を行う予定です。

2 注意事項

- (1) 10日（土）午前10時頃から、ビクトリア通り、フランシスコ・デ・ミランダ通り、フランシスコ・ファハルド高速道路の一部が閉鎖されると思われます。また、11日（日）午前11時頃から、フランシスコ・デ・ミランダ通りが閉鎖されると思われます。
- (2) 抗議集会後、チャカオ市内各地（アルタミラ広場等）にデモ隊が再集合し、これを排除しようとする治安機関との衝突の可能性があります。
- (3) 治安機関は、デモを制圧する際、催涙ガスを使用しており、催涙弾が人体に直撃して死亡する事件が発生しているほか、催涙弾の中には、劇症アナフィラキシーショック死や視覚

障害、脳障害を引き起こす可能性のあるガスも含まれています。そのため、催涙弾が使用される場面に遭遇した場合は、風上や建物内に避難するようにして下さい。

- (4) 治安機関は、ビー玉状のものを弾頭として使用したスラッグ弾を、ショットガンから発射している可能性があります。このスラッグ弾が命中した場合、ビー玉が身体にめり込み、人を骨折させる程の威力があり、極めて危険です。
- (5) デモ隊の中には、通常の火炎瓶だけでなく、手製バズーカ砲の様なものを使用して、ロケット弾のように火炎瓶を遠距離まで飛ばす可能性があります。これは、完全装備の治安要員を負傷させる程の威力があり、極めて危険です。
- (6) 現下の厳しい経済状況や治安の悪化もあり、当面、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は極力控え、できる限り、食料品・飲料水等の備蓄に努め、やむなく外出せざるを得ない場合には、テレビ・ラジオ・インターネット等で、事前に外出先や経路の状況を確認するようにお願いいたします。